

15. 猿賀神社



807年、蝦夷征伐のため北上した坂上田村麻呂が「神蛇宮」として建立したと伝えられ、藩政時代には、津軽為信公により祈願所として定められました。

お田植祭、七日堂祭を始め、数々の祭事が行われていますが、中でも旧暦の8月14日から16日にかけて行われる秋の例大祭では、民俗芸能の獅子踊りなどが奉納され、多くの人を訪れます。



猿賀神社に隣接する猿賀公園は、和洋折衷の公園で、別名「津軽富士」と言われる岩木山を一望できます。また、8月中旬には、池の蓮の花が美しく咲き誇ります。